

平成二十四年度

推薦入試試験問題

(文学科 日本語日本文学専攻)

注意事項

- 1 解答は、すべて解答用紙に縦書きで記入してください。
- 2 白紙は、下書きとして使用してください。
- 3 受験票とこの問題用紙および白紙は持ち帰ってください。

課題

次の文章 A・B を読んで、後の問いに答えなさい。答えはすべて解答用紙に書くこと。

A

【省略】

B

【省略】

【省略】

【省略】

(A・Bいずれも野村雅昭『漢字の未来 新版』二〇〇八年、三元社、30～37ページより。小見出しは省略した。また、一部表記を改めたところがある。)

- 注1 手紙の様式・書体・用語などの礼儀作法を教える教育。
- 注2 文字の読み書きができない人。
- 注3 本来「つきこかせよ」と言うべきもの。「つきたおせ」という意味。
- 注4 中国の孔子に代表される政治・道徳の学問のことで、四書五経を經典に用いる。江戸時代には政府公認の学問(官学)となり、武士にとっては必須の教養だった。
- 注5 四書五経などの中国古典を読みやすくするため、字句の意味や説明をつけること。
- 注6 書物を読んで理解はしていても、それを生かして使えない人のことをいう。
- 注7 隠語のこと。仲間うちだけにわかる言葉。

問一 ——部「国語教育への期待」で柳田国男が述べた文章について、その内容をあなたの言葉で二〇〇字以内でまとめなさい。

問二 漢字の使用がもたらす優越感と反発について、課題文をふまえつつ、あなたの考えを六〇〇字以内で書きなさい。